

【学長挨拶】

松 本 宣 郎

東北学院大学学長・学校法人東北学院理事長

皆さん、こんにちは。学長の松本宣郎です。経営研究所のシンポジウムは、毎年行われております。卒業生に聞く「東北学院と経営者」と題して、今、鈴木先生からお話があったように、随分多くの経営者、世間で言えば社長さんが、たくさん当学院から育てております。その方々を、きょうお招きしてお話を伺います。

きょうは、マルハニチロの坂井道郎さん、ル・プロジェ代表取締役の山田洋一郎さん、それから、本間青果の代表取締役本間充さんです。お三方は、いずれも会長さん、社長さんという、文字通りのテーマで活躍しておられる諸先輩で、いずれも当学院の卒業生であります。

皆さんがたにも、皆社長さんになって頂きたいとは思いますが。今現在、恐らくここには経営学部の方が多いと聞いています。特に、3年生の方々は、就活あるいは卒業を控えている時期であるばかりでなく、突然新しい政党が出現したり、北の方からは何が飛んでくるかわからない、そういう状況の中で、さまざまな面で先行きの不透明感、不安感を覚えている方も多いと思います。

きょうの坂井さんはじめ、お三方は、そういう中で、東北学院で学ぶ君たちはここでの学びをしっかりしておきさえすれば、どんな荒波の、あるいは、不透明な社会へ出ていっても大丈夫だと、どこであってもしっかり生きていける力を持つように大学生活をしっかりおやりなさいという、基本的メッセージをでお話しただけのだろうと思っています。

お三方の中ですと、坂井道郎さんは、東北学院の評議員も務めていただいでいて、さまざまな形で東北学院大学を叱咤激励して下さる評議員であります。そんなこともあって、少しだけ、私の知っている坂井さんをご紹介します。坂井さんは、マルハニチロという、水産物に関わる会社を守ってこられ、大きく育ててこられた方です。ごく最近、今年の5月に『消費者に味方する者は最後の勝利者なり』というご本をお出しになりました。私も頂いて読ませていただきました。題名からすると、マーケティングの本のようですが、実は坂井さんの企業人、経済人としての伝記、自伝であります。お父さまを亡くされて、ご苦勞の中、レスリングやラグビーをやり、音楽にも堪能になられた。そういうマルチな面でご活躍しつつ、企業人としての道を歩んでこられた方です。

私もお話を伺って、大いに励まされると思います。皆さんも同じであります。先ほど言ったような趣旨で行われる会でもありますので、坂井さん、山田さん、そして、本間さんのお話を伺い、そして、その後のシンポジウムの中で、どうぞ良い学びと、良い大学生としての心構えをいよいよ強めることを私としても期待しております。では、きょうおいでの講師のかたがたに改めてお

礼を申し上げます、あいさついたします。きょうは本当にありがとうございました。

写真2：松本学長による挨拶

